

広報

おまぐす

2021

2

No.193



真っ赤な宝石いただきます

NEXT きらめき[★]

小野 ^{すず}鈴 ^か花 さん (八幡浜高等学校陸上部1年)

第32回女子全国高等学校駅伝競走大会出場
愛媛県高校駅伝・女子(2020)八幡浜高等学校 優勝



アンカーにタスキを託す小野さん
(2020愛媛県予選会)



平成16年12月、大洲市若宮生まれ。喜多小学校、大洲北中学校出身。昨年11月1日(日)に行われた愛媛県高校駅伝で4区(3キロメートル)を走りました。大会では1位のリードを守り、アンカーの徳山和さん(とくやま)にタスキをつなぎました。この大会で八幡浜高等学校は1時間11分14秒でゴールし、14年連続14回目の優勝を決めました。

「12月20日(金)に京都市で行われた全国大会では、県代表として八幡浜高校過去最高順位を目指しましたが、達成することができず悔しい思いをしたので、来年はリベンジしたいです。将来は、豊田自動織機T.C(トヨタ) Track Club)に所属する田中希実選手のような長距離ランナーになりたいです」と語りました。

2月の納税など 納期限は3月1日(月)です。

税 別	2月	3月	4月	5月
市 県 民 税				
固 定 資 産 税	4期		1期	
軽 自 動 車 税				1期
国 民 健 康 保 険 税	8期	9期		

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。
納期限内であればコンビニでも納付することができます。

現在の^{大洲}

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	42,004人 (- 66)	件 数 40件(61件)
男	20,122人 (- 29)	死 者 1人(0人)
女	21,882人 (- 37)	負 傷 者 48人(67人)
世帯数	19,818世帯(- 19)	

(2020年12月末現在)

CONTENTS 目次

2 ページ	NEXTきらめき・今月の表紙
3 ページ～	(特集)小さな町のミニスーパーの大きな役割
6 ページ～	おおずニュース
10ページ～	シリーズ
13ページ～	おしらせピックアップ
22ページ～	情報ひろば
24ページ～	集まれ0級若モン・図書館
26ページ～	保健センター・各種相談ガイド
28ページ	がんばるひと(点訳サークルひとみ)

今月の表紙



12月8日(火)、市内徳田いちご園でのいちご狩り体験会の様子です。

開園に招待された保育所児童は、大きく実った真っ赤なイチゴを手に取り、「おいしいね」と言いながら頬張っていました。

(特集)

小さな町のミニスーパーの大きな役割



金山出石寺の裾野にあり明治から昭和初期にかけて三菱鉱山で栄えた豊茂地区。昭和30年には、214人の児童がいた豊茂小学校も13人に減少し平成23年3月に閉校となった。4月には、地域唯一の買い物ができるスーパーだった愛媛たいき農業協同組合Aコープ豊茂店も閉店となる。

そこで、豊茂自治会が立ち上がりミニスーパーを開店、さらに平成25年10月から軽ワゴン車（初代）による移動販売を開始した。

2代目となる移動販売車のお披露目式



【令和2年11月26日(木) 豊茂ふれあい広場】

【ミニスーパー豊茂】

愛媛たいき農業協同組合Aコープの閉店、後を引き継いだ個人商店の閉店を受け、地区唯一の買物の場を確保するため平成23年4月にミニスーパー豊茂が開店。

【移動販売車】

ミニスーパー開店から2年後の平成25年10月、高齢者や交通手段の無い地域の人たちへの支援策として軽ワゴン車による移動販売を開始。

開始当初は、毎週金曜日と土曜日の2日間で地区内を回っていたが現在は土曜日のみで運行している。しかし、初代移動販売車は軽自動車のパンタイプで荷物の積み降ろしが容易ではなく、運転者の高齢化に伴って労働力の確保が難しくなっていた。併せて車の故障カ所も増えていたため、今回の2代目購入となる。

【2代目移動販売車の概要】

車両価格	(本体・架装・ラッピング含む) 3,397,790円	
財源	自治会積立金	1,352,100円
	大洲市小学校統廃合地域振興補助金	1,044,900円
	愛媛たいき農協補助金	1,200,000円
	上川「土」基金 愛媛たいき農協	150,000円
仕様	ベース車	スズキキャリー4WD
	装備	サイド・リア3段可動式ステンレス陳列台
		断熱2重ガラスLED照明付冷蔵ショーケース
		100Vコンセント
		SDプレーヤー野外スピーカー
		一層ステンレスシンク
		給排水各20リットルタンク
キャッシュディスプレイ (現金自動支払機)		

【地域にもたらしたもの】
 小さな地域内での取り組みであるため、運営に必要な経費や人材確保など厳しい面はあるが、この移動販売により現在約30世帯が利用している。
 さらに、高齢者の見守りに繋がするなど、地域になくってはならない存在となっている。

【自治会長 大本 昭裕さん】



地域、関係者のみなさまと愛媛たいき農業協同組合のご理解とご支援により、2代目となる移動販売車を導入することができました。深く感謝申し上げます。

豊茂地区も過疎化の進行に伴い、全国でもあまり例のない自治会によるミニスーパーの運営と移動販売を行い、地域支え合い、高齢者、買い物弱者支援に努めています。

今回、新しい専用車両の導入により、今後スムーズな販売が可能となり、一層充実した取り組みになるものと考えています。どうかみなさまには今後も引き続き変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【愛媛たいき農協
代表理事組合長 菊地 秀明さん】



J A支所の統廃合もあり、今回の移動販売事業について

大変感謝しています。

この事業は、豊茂地区に限らず近隣周辺にも範囲を広げていただき、人と人が支え合う協働の輪を広げていただきたいと思っています。

【長浜支所 久保 嘉範支所長】



地域を盛り上げていただいている豊茂自治会の取り組みについて、お礼を申し上げます。

市としても来年度からデマンド交通の本格運営を開始し、今後も元気で明るい街づくりに向けて取り組んで参りますのでみなさまのご協力をお願いします。

【移動販売車ラッピングのイラストの作成者 清水敏宏さん】



山間部を巡り、みなさんと話しながら買物ができる喜びを表現したく、「動き」をテーマにして作成しました。

そして、このイラストを見ることによって、地域が元気になればいいなと思っています。

【ミニスーパー豊茂代表



鎌田 繁さん】

運転手は地区で交代しながら行っていくようにしてい

ます。そうすることで、「大切なみんなの移動販売車」という意識もできると思います。そして、これからは広範囲にも事業を展開し、人口減少による地域のつながりが希薄になるところを少しでも支援できればうれしいです。

【豊茂自治会購買部副部長

藤淵 良子さん】

ミニスーパーを開店して3年目に売り上げが減少しました。高齢者の人は、歩いて来店することができなくなり買物に行けなくなってきました。

そこで、「私たちが何とかしたいいけない」「来れないのなら、こちらから持っていこう」ということになり移動販売が始まりました。すると、「お惣菜が欲しい」と要望があり、「それなら営業許可を取って作って持っていこう」ということになり、そこから売り上げが上昇しました。

高齢者にとっては、食べる事が楽しみの一つだと思っています。そしてお買い物や会話をする事も大切で、それがストレス発散になるのではないかと考えています。今では、移動販売を待っている地元の人もいて、私たちも頼りにされている充実感と、少しでもお小遣いになる楽しみもできて相乗効果があります。

小さな町の動くミニスーパーは、私たちの生きる糧となる大きな役割をもった大切なスーパーだと思っています。

【問い合わせ先】

豊茂自治会（豊茂公民館内）

☎ 0303